

## 国民運動「COOL CHOICE (クールチョイス)」市長宣言

留萌市は、「COOL CHOICE (クールチョイス)」に賛同し、地球温暖化対策を推進します。



### 【市長宣言文】

地球温暖化対策の国際的な枠組である「パリ協定」が発効となり、「世界の平均気温上昇を2度未満に抑えること」や「今世紀後半の温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ことなどの共通目標に向かって世界は動き始めています。

日本においては、「地球温暖化対策計画」が示され、温室効果ガスの排出量を2030年度までに2013年度と比べて26%の削減目標を決定し、この目標を達成するため、「国民・事業者・行政」の全てが協力して取り組む国民運動として「COOL CHOICE (クールチョイス)」(=賢い選択)を推進しています。

留萌市は、第2期留萌市環境基本計画及び第2次地球温暖化防止実行計画(事務事業編)により温室効果ガス削減に取り組むこととしており、子供たちや未来の市民が安心して暮らしていける環境を残していくためにも、市民や事業者の皆さんと連携して留萌市全体で「COOL CHOICE (クールチョイス)」を推進することをここに宣言します。

平成29年4月27日

留萌市長 高橋 定敏

## 「COOL CHOICE (クールチョイス)」について

「COOL CHOICE (クールチョイス)」とは、地球温暖化対策の一環として、温室効果ガスの発生が少ない「製品」や「サービス」、「行動」(クール)を選択(チョイス)する運動です。

政府は、新たな地球温暖化対策として採択された「パリ協定」に基づき 2030 年度までに 2013 年度比で 26%の削減目標を掲げ、安倍首相自らが「COOL CHOICE (クールチョイス)」宣言を行い、日本全体で温室効果ガスの削減に向け取り組んでいます。

例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にするという「選択」、高効率な照明に替える、公共交通機関を利用するという「選択」、クールビズをはじめ低炭素なアクションを実践するというライフスタイルの「選択」があります。

### 「COOL CHOICE (クールチョイス)」の取組例

- 室温の適温設定 (クールビズ・ウォームビズの活用)
- 省エネ機器への買替 (電灯の LED 化、省エネ家電、エコカーなど)
- 照度の適正化 (照度調整、電灯の間引き)
- エコドライブの推進 (アイドリングストップ、急加速をしないなど)
- 公共交通機関の利用促進
- エコ住宅の普及促進
- 地場産品の利用促進 (流通経費の削減)
- 食べ残しを減らす (ごみの抑制)
- 資源ごみを分別してリサイクル (新聞紙などの紙類、缶、ビンなど)
- 待機電力の削減
- マイバックの持参 (レジ袋の削減)
- 詰め替え商品を選択
- リサイクル製品の購入 (再生紙など)



取組例はほんの一例ですが、それぞれが身近な生活の中で、未来のために選択できる行動により、少しでも地球温暖化を防止することができます。